

## 放射線測定器を使う場合

### 放射線測定器使用時の注意点

放射線量を測定できる機器がある場合は、よりポイントを絞った線量低減対策を行えるほか、その効果も確認できます。

- 放射線(ガンマ線)を測定できる測定器であれば使用できます。製品の使用説明書に沿った正しい方法で測定してください。
- 透明なビニール袋で覆うなど、測定器自体が汚れないように注意して測定してください。また、ビニール袋は汚れたら必ず交換してください。

### 空間放射線量の測定方法

- ①マイクロホットスポットが疑われる箇所において1m(子どもの生活環境\*では0.5m)の高さで線量を測定します。
- ②清掃作業後、同様の方法で測定し、線量が1時間あたり0.23マイクロシーベルト未満になっていることを確認します。



測定機器

●1mの高さで測定  
(子どもの生活環境\*では0.5m)

\*子どもの生活環境:  
幼稚園、保育所、小学校、公園など。

(マイクロホットスポットが  
疑われる箇所  
測定箇所)

【測定器の一例】



左:NaIシンチレーションサーベイメータ  
右:簡易型線量測定器

# 身のまわりの放射線量を減らす工夫

〔マイクロホットスポットへの対応〕

空間線量が1時間あたり0.23マイクロシーベルトを下回る地域においては、特に除染を行う必要はありません。しかし、雨などにより放射性物質が集まり、放射線量が局所的に高くなる場所(マイクロホットスポット)が生じることがあります。こうした場所の線量を下げることの工夫を、このパンフレットでご紹介します。



## 放射線の基礎知識

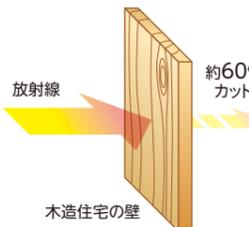
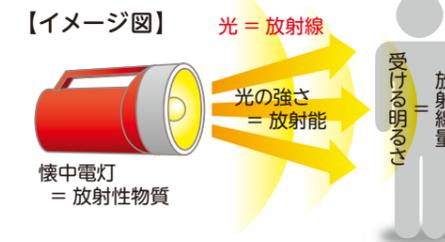
### 放射線・放射能とは

放射線は目に見えないものですが、日常でも、わたしたちは宇宙や大地から自然放射線を受け続けています。また、医療の現場でも、胸部X線検査などに利用されています。

さて、「放射線」「放射能」という言葉は聞き慣れないものですが、身近な物で、懐中電灯に例えることができます。懐中電灯自体が放射性物質とすると、光が放射線、懐中電灯から出る光の強さが放射能に例えられます。

また、実際に放射線から人体に受ける影響は、シーベルト(Sv)という単位で表します。懐中電灯に置き換えると、人が受ける明るさの感覚で例えられます。

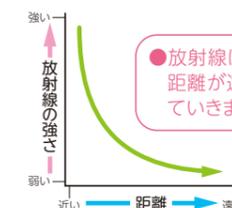
【イメージ図】



●放射線は、木造家屋では約60%カットされると言われています。

### 放射線量が局所的に高い場所(マイクロホットスポット)とは

その地域一帯の放射線量が低くても、雨などで流されたごみや土などが集まりやすい場所や、壁や工作物の窪みや汚れでは、局所的に高い放射線量を示すことがあります。具体的には雨どいや壁の下、壁などに付着している苔や汚れ、木の根元付近、落ち葉や草が溜まっている所、側溝などが、マイクロホットスポットになりやすい場所です。



●放射線は、発生源からの距離が遠くなるほど減っていきます。

## 相談窓口

環境省 (福島) ☎0242-85-8777  
受付時間:8:30~17:15まで  
(東京) ☎03-5333-8250  
受付時間:9:30~18:15まで

宮城県 ☎022-211-3323  
受付時間:9:00~17:00まで  
(※土日祝日を除く)

## 情報発信サイト

環境省 放射性物質による環境汚染情報サイト <http://josen.env.go.jp/>

環境省 除染情報プラザ <http://www.env.go.jp/jishin/josen-plaza.html>

宮城県 放射能情報サイトみやぎ <http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/>

宮城県環境生活部原子力安全対策課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号



このパンフレットは50,000部作成し、一部あたりの単価は約6円です。

平成24年3月作成 宮城県

清掃  
できる

# 放射線量を減らす工夫。

家庭にある用具や資材を用い、落ち葉などの堆積物の除去、土の入れ替え、雨で溜まった泥の除去などの清掃作業で、放射線量を減らすことができます。

## 1 準備 安全に作業するには、 どんな準備が必要でしょうか？

外で軽作業を行う服装で構いません。なお、作業内容によって、適宜装備を追加してください。

### 基本となる服装

- 帽子
- マスク
- 動きやすく通気性の良い服装(長袖・長ズボン)
- 軍手
- 長靴

### 水を扱う場合の服装

- 基本となる服装に加え、
- カップ(水が浸透しない服装)
  - ゴーグル(メガネ)
  - ゴム手袋(中に薄手の布手袋を付けると、汗で滑りません。)を追加。



### 作業時の用具・資材の例

専用の用具や資材は特に不要です。ご家庭にあるものを活用していただいで構いません。

#### 【基本】

- ハンドショベル ● 草とり鎌 ● ホウキ ● 熊手
- ちりとり ● トング ● シャベル ● スコップ
- レーキ ● ゴミ袋(可燃物用の袋、土砂用の麻袋(土のう袋)) ● 剪定バサミ ● 高枝切りバサミ
- ブルーシート など

#### 【水洗浄を行う場合の用具の例】

- ホース ● シャワーノズル ● ブラシ(デッキブラシ)
- タワシ(亀の子、スチールウール製など)
- バケツ、洗剤(中性洗剤、オレンジオイル配合洗剤、クレンザー、パイプクリーナー、洗剤含浸タワシや10%程度の酢またはクエン酸溶液など)
- 雑巾 ● キッチンペーパー など

## 2 作業1 どんなどころを清掃すればよいのでしょうか？

原則として、高い位置から低い位置の順に清掃をします。

雨どいや樹木の根元にある落ち葉や枯れ草のような堆積物、ごみなどを除去します。

### 作業時のポイント

ほこりが発生する場所は、あらかじめ散水します。

拭き取りは雑巾などの折りたたんだ各面を使用し、使用済みの面で手が汚染されないように注意してください。

拭き取りやブラッシングでは、中性洗剤を使用するとより効果的です。

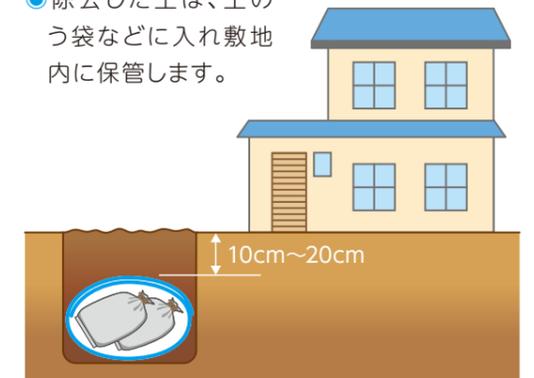


## 3 作業2 発生した不要物は、 どうしたらよいのでしょうか？

### 《発生した不要物の処理など》

発生した不要物などは、できるかぎり分別して処理します。

- 草や落ち葉、ごみ類は、一般ごみとして、各市町村の指示に従って処理してください。
- 除去した土は、土のう袋などに入れ敷地内に保管します。



## 4 作業終了 作業後の注意点は？

- 作業に伴う汚れが表面に残っているところは、できる限り除去します。作業に使用した衣服や手袋などは、汚れに注意しながら取り外します。
- マスクなど使い捨てのものは、一般ごみとして処分します。
- その他の用具類は、使用後によく洗うことで繰り返し使用できます。
- 手洗い・うがいをし、シャワーやお風呂で汗と汚れを流します。
- 作業に使用した衣服なども、洗濯して再使用できます。

